

令和2年度
テクノエイドワーキンググループ
活動報告書

令和3年9月

テクノエイドワーキンググループ

1. はじめに

テクノエイドワーキンググループ（以下、テクノ WG）は、千葉県千葉リハビリテーションセンター（以下、センター）におけるテクノエイドセンター構想の具体化のために、平成 21 年 12 月より活動を開始した。

本報告書では、令和 2 年度のテクノ WG の活動の詳細を報告する。

2. Covid-19 感染対策への取り組み

(1) 福祉機器展示室の感染対策の取り組み

Covid-19 感染対策のため、福祉用具展示室の使用方法を定めた（下図参照）

感染対策のための 福祉用具展示室使用ルール	
2020/4/24作成	
1. 福祉用具展示室 利用ルール	
(1) 展示室を利用する前に サイボウズで確認・予約する! 利用時間が他の方と重ならない対策です	
(2) 同じ時間の利用者は 1組まで! 利用される方同士の感染を防ぎます	
(3) 使用後は 感染対策を徹底 する→別紙	
2. 福祉用具展示室を利用可能な例	
福祉用具を利用することを前提とした下記の要件で使用可	
◆患者様への試用	
◆家族指導	
◆地域支援者とのミーティング	
◆その他、年金計測など緊急性の高い対応	
3. 展示品の貸し出しについて	
◆貸し出しは可能です（期間 1 週間、感染症の方へは不可）	
◆返却時に洗濯、消毒対応を徹底する	
4. その他	
センター職員のみでの物品の借用・返却はいつでも可能です。	
→不明点は地域リハ推進部へ（内線 1 8 3）	

消毒の徹底。	
✓ 入室スタッフ自身が環境清拭クロスで消毒の徹底を	
✓ 使用後の環境清拭クロスはゴミ箱へ	
✓ マットレスはシーツを利用する	
2020/4/24作成	
1. マットレスはシーツをかけて	
使用前に新しいシーツをかけて	
使用後はランドリーボックスへ片付けて	
ベッドの手すり等触れたところは環境クロスで	
2. 移乗用リフトは環境クロス	
リフト本体	:ハンガー・ボタン・ハンドル…
吊り具	:ストラップを重点的に
3. 車いすは環境クロス	
ハンドリム・介助バー・ブレーキ・アームサポート・クッション…	
4. 福祉用具以外にさわったところも!	
ドアノブ・カギ・照明スイッチ・その他触れたところ	
→不明点は地域リハ推進部へ（内線 1 8 3）	

(2) コロナ禍展示室の使用

センター全体の感染対策として、入院患者が多数集合するリハビリテーション療法室や病棟への外部者の出入りが禁止になった。その補完として、感染対策を徹底した上で福祉機器展示室で家族指導や福祉用具・車いす作成事業者等との打ち合わせ、オンライン家屋訪問を行った。

2. 令和元年度福祉機器展示室の利用状況について

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの利用状況を報告する。なお「福祉機器展示室鍵貸出簿」の記入に基づき集計したため、鍵貸出簿への記載が無い利用は含まれていない。

展示室の利用回数は合計383回であった（図1-1）。6月の利用回数が最も多く45回であった。一方、5月は利用が少なく22回であった。1ヶ月の平均利用回数は32回であった。

延べ利用者数は915名であった（図1-2）。3月の利用者が最も多く116名であった。一方、7月は利用が少なく57名であった。1ヶ月の平均利用者は76名であった。利用者の内訳は、理学療法士が287回（74.9%）と最も多く、ついで作業療法士69回（18.0%）、ソーシャルワーカー18回（4.7%）であった（図1-3）。

利用目的は、患者への試用209件（54.6%）、用具返却58件（15.1%）、研修（内部）11件（2.9%）であった。（図1-4）試用した用具は、リフト76件（19.8%）が最も多く、ついで車椅子62件（16.2%）、ベッド45件（11.7%）であった。（図1-5）

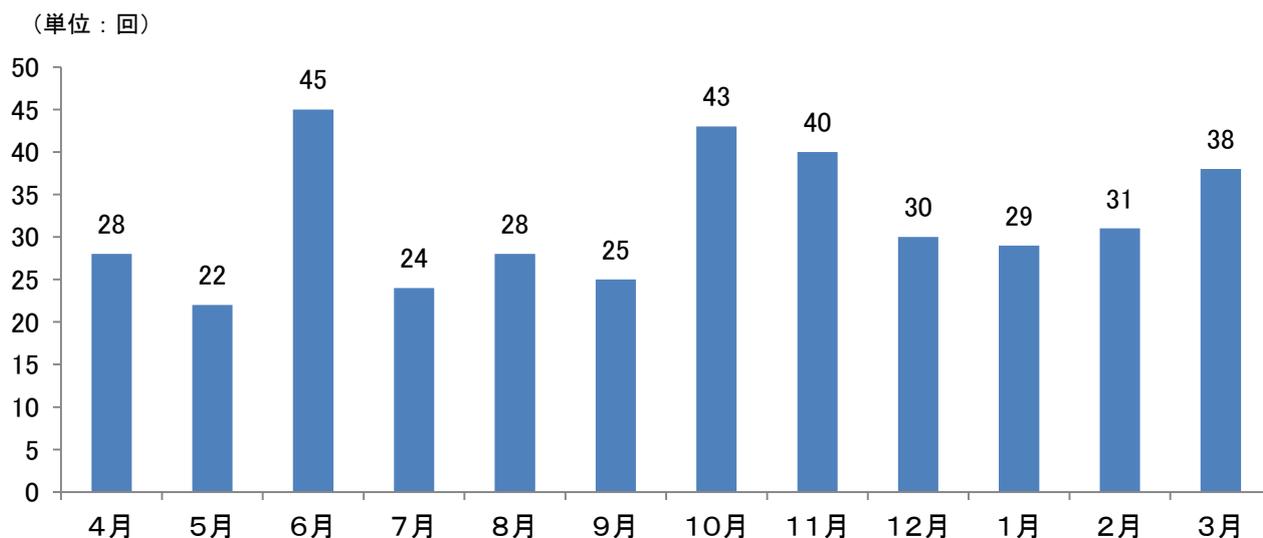


図1-1 利用回数 合計383回

(単位：名)

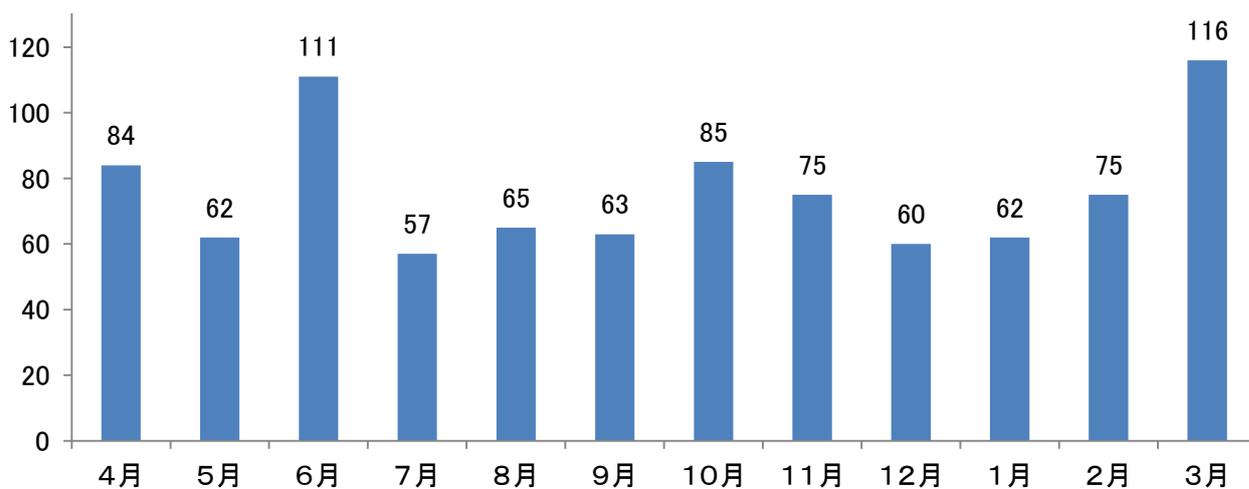
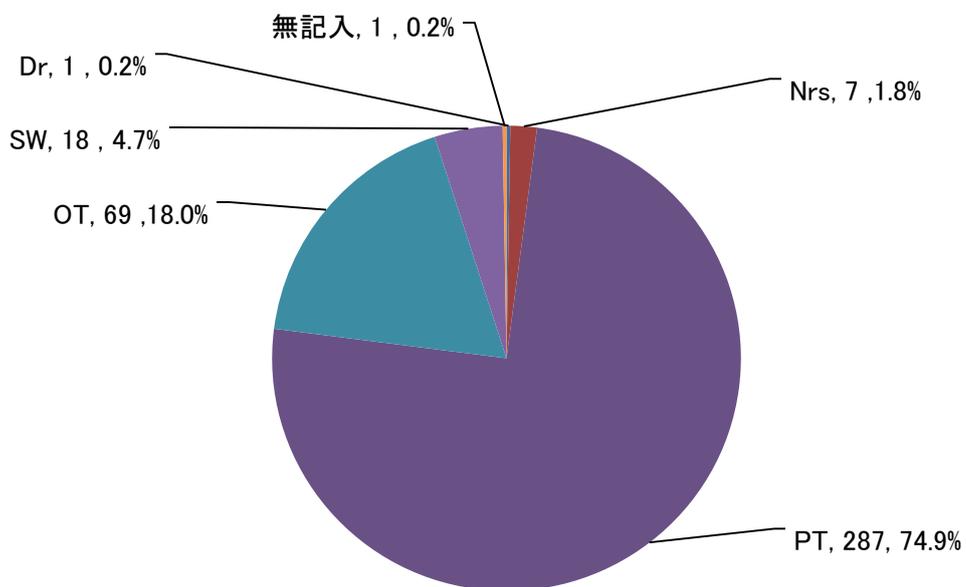


図 1-2 利用人数 合計 915 名



(単位：件、%)

図 1-3 職種別利用状況 計 383 件

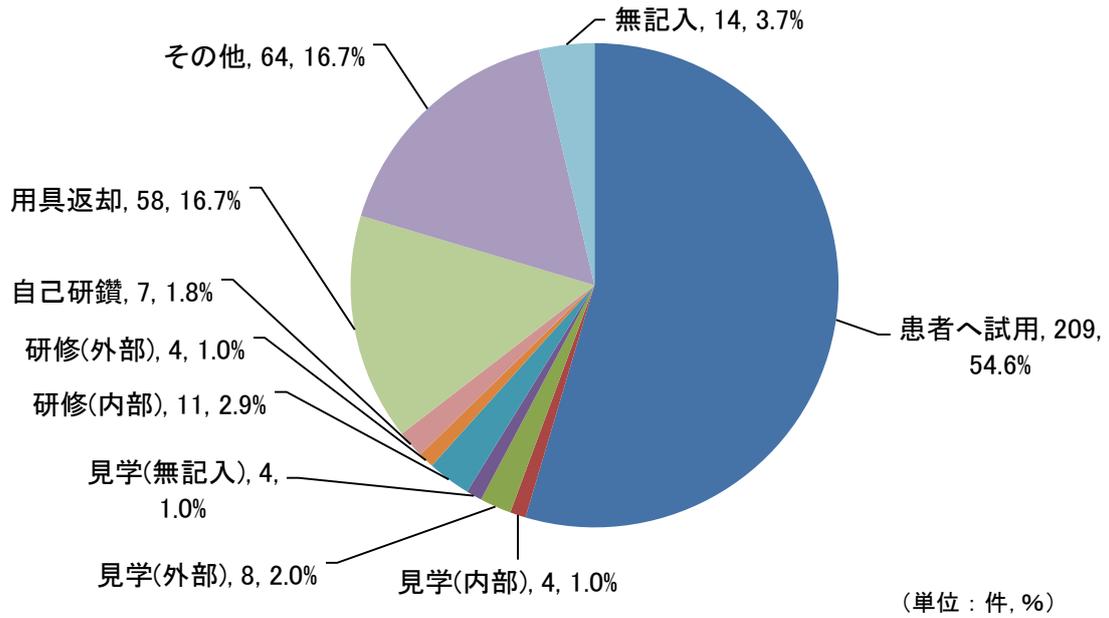


図 1-4 利用目的 合計 383 件

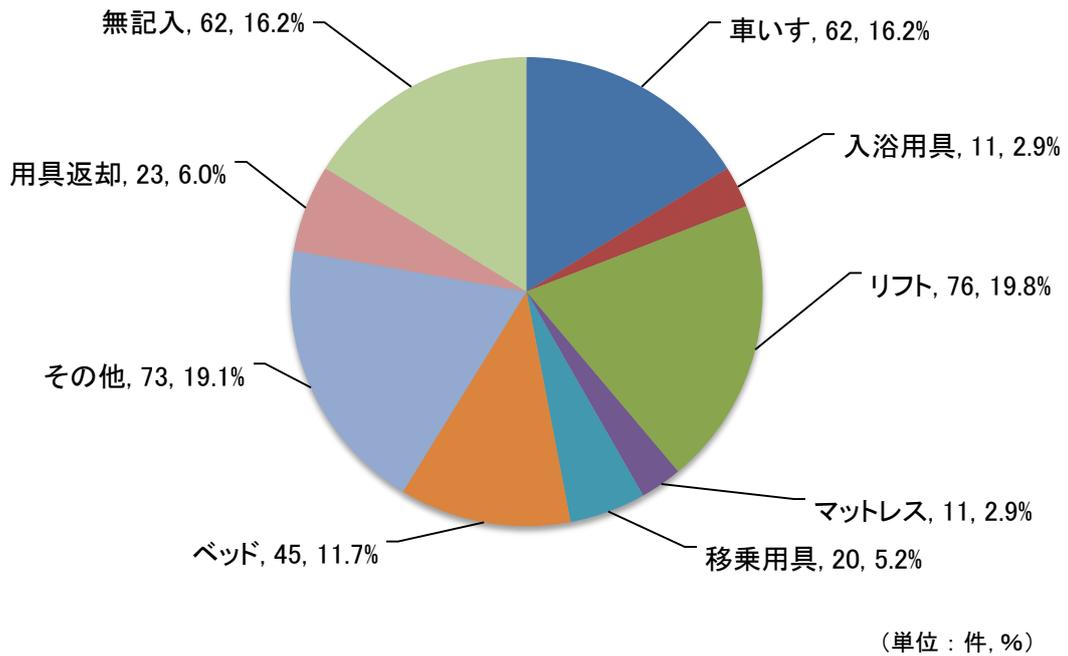


図 1-5 試用した用具 合計 383 件

3. 活動の詳細

(1) 体圧測定について

患者、利用者のマットレス選定のため、体圧分布センサーSR ソフトビジョン（全身版）で21件計測対応した。

(2) その他の活動

作業療法室内にあるICT関係機器の一覧表、各種機器の取り扱い説明書を作成した。

4. センター内の相談への対応

◆センター内の福祉用具に関する相談を電話・メール・直接で対応した

主なものは下記の通り

- 個別リハに立ち会い、移乗用リフトやマットレス等の選定アドバイス
- センター内の福祉用具購入時の選定アドバイス（スライディングシート、トランスファーボード、ポジショニングクッション）。
- センター内の移乗用リフト活用に向けた相談支援や研修対応
- センター見学者への福祉機器展示室の紹介・説明対応

5. 研修等

例年、センター職員を対象とした福祉用具研修を行っていたが、感染対策のため集合での開催は行わず、移乗用リフト、トランスファーボードの研修動画を配信した

6. 現在の課題、及び次年度の目標について

(1) 移乗に関する福祉用具使用方法の標準化

当センターでは、移乗用リフト、トランスファーボードを積極的に導入しているが、改めて使用方法を整理するため、次年度は標準使用方法の検討、作成を取り組みたい

(2) 県のリハビリテーションセンターとしての取り組み

県のリハビリテーションセンターとして、県下の関係機関や関係者へ情報発信や人材育成等、多面的な福祉用具支援を実施できるよう、取り組みを充実させる。また、当センターの建替え等も視野に入れ、福祉用具の情報発信ができる環境を整えたい

部署	氏名
リハビリテーション療法部 (PT)	北郷 仁彦
リハビリテーション療法部 (PT)	海沼 慶明
リハビリテーション療法部 (PT)	後藤 拓也
リハビリテーション療法部 (PT)	藤平 智也
リハビリテーション療法部 (PT)	金坂 一篤
リハビリテーション療法部 (PT)	石田 純
リハビリテーション療法部 (OT)	横田 翠
リハビリテーション療法部 (OT)	前島 潤子
リハビリテーション療法部 (OT)	神保 和正
リハビリテーション療法部 (OT)	三屋 邦明
リハビリテーション療法部 (OT)	中井 麻梨子
看護部	高山 晴年
看護部	舘野 菜々子
総合相談部	佐藤 郁夫
愛育園 療育支援科	相澤 浩美
児童発達支援センター 通園科	成合 智子
補装具製作施設	浦田 敦
地域リハ推進部	田中 康之
地域リハ推進部	後藤 達也
地域リハ推進部	太田 直樹

令和2年度 テクノエイドワーキンググループ活動報告書

令和3年9月